

2月の政治・経済イベント

重要 01 新型肺炎の経済的影響

中国の武漢で始まった新型肺炎は感染の拡がりを見せていますが、それが中国や世界の経済にどれだけの影響をもたらすのかは、まだよくわかりません。中国政府は感染抑制のために春節（旧正月）の休暇期間を1月30日までから2月2日までに延長するとしました。2月3日から経済活動が通常ペースに戻るのか、貿易や海外旅行の減少を通じて経済的影響が他国へ広がるかに注意が必要です。

重要 02 米国大統領選挙スタート

共和・民主両党の大統領候補を各州で選ぶ党員集会、予備選挙が2月から始まります。2月3日にはアイオワ州で党員集会、11日にはニューハンプシャー州で予備選挙が行なわれます。共和党側は現職のトランプ大統領が選出されることがほぼ確実ですが、民主党では有力候補がしのぎを削っています。予備選挙の集中開催日である3月3日のスーパーチューズデーに向けてどの候補が勢いをつけるかが注目されます。左派候補の勢いが増すと、金融市場では警戒感が高まる可能性があります。

重要 03 英国・EUの通商交渉

1月末に英国はEU（欧州連合）を離脱する運びとなり、今後は離脱前の経済関係が原則維持される移行期間が終了する2020年末までに、英国・EU間の自由貿易協定の締結・発効を目指します。ただ、EUの従来の貿易協定は数年を要することが多く、11か月という短期間で交渉をまとめることは容易ではありません。まずは、交渉スケジュールを巡って、大枠の合意が早期に取れるかが注目されます。

2月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
3日(月)	中国 	春節休暇明け
3日(月)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（1月）、アイオワ州党員集会
7日(金)	中国 	貿易収支（1月）
7日(金)	米国 	雇用統計（1月）
11日(火)	米国 	ニューハンプシャー州予備選挙
12日頃	中国 	マネーサプライ、社会資金調達金額（1月）
17日(月)	日本 	10-12月期GDP（1次速報値）
19日(水)	日本 	貿易収支（1月）
19日(水)	米国 	1月28、29日開催FOMC（米連邦公開市場委員会）議事録公表
27日(木)	ユーロ圏 	欧州委員会ユーロ圏景況感指数（2月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。